

みなさんの詩を公募します

応募受付期間 | 2023年 5月18日[木] ~ 7月31日[月]

気候

アクション

SUMIDA

川辺から、詩と映像によるメッセージ

「気候アクションSUMIDA」は、川に囲まれた墨田区を活動拠点に、アート、サイエンス、建築、デザイン、ランドスケープ、まちづくりなど、分野横断、市民参加で気候変動に向き合うプロジェクトです。その中心となるコンテンツが、クライメート・ポエトリー（気候をテーマとした詩）。皆さんから詩を募集し、ご応募いただいた作品を、SUMIDAの川辺の拠点から、さまざまなメディアで広く発信します。事前に情報や知識を得ていただくために、気候変動、詩の書き方、都市河川について無料のオンライン・レクチャーを開催します。ぜひご参加ください。

豊かな水辺に将来も安全に暮らし続けたい…

そのためのアクションとして、気候変動がもたらす危機を知り、

川や水、地球環境についてのあなたの思いや考えを

詩で表現してみませんか？

そしてSUMIDAの川辺から発信してみませんか？



<https://www.art-society.com/project/climateactionsumida.html>



みなさんの詩を公募します

身近な環境を考え、気候アクションへとつながる詩をふるってお寄せください。

募集内容

応募資格	どなたでも応募できます	テーマ (トピック)	気候変動・気候危機・気候正義・水・河川 親水・水害・エコシステム・未来の地球
詩の形式	自由 言語は日本語に限ります		
文字数	900字(30字×30行)以内	応募方法	特設ウェブサイトの応募フォームに、 詩のタイトル、詩の本文、 応募者情報を入力
応募期間	2023年5月18日(木)～7月31日(月)		
参加料	無料		

発表方法

9月末に東京都墨田区北十間川の川辺に設ける活動拠点にて※、朗読、展示、映像との組み合わせのいずれかで発表します。さらに、作品をまとめた詩集を制作し、応募者全員に進呈します。また特設ウェブサイトでも紹介します。

※川辺の活動拠点の構築や空間演出、映像制作、プロジェクションなどは、千葉大学墨田サテライトキャンパスのデザイン・リサーチ・インスティテュート(dri)の協力によって計画、実施されます。



東京都墨田区北十間川

応募に関する注意事項

- 応募は一人一点のみでお願いします。
- 募集テーマに即した、未発表のオリジナル作品に限ります。
- できる限り、事前に無料のオンライン・レクチャーを聞いて詩作し、テーマに適合しない作品は、発表できない場合があります。
- ご応募ください。
- 発表作品の著作権は、主催者に帰属します。

詩作に当たってオンライン・レクチャーを開催します

気候変動、都市河川、詩作の方法について事前に情報、知識を得ていただき、テーマに沿った詩作をサポートするレクチャーです。ぜひご参加ください。

オンライン・レクチャー

ライブ配信 参加無料 定員30名(先着順)	① 5月14日(日) 13:30-14:45	気候・地球環境に関する 専門家によるレクチャー	講師 向井人史 (国立環境研究所高度技能専門員)
	② 5月14日(日) 15:00-16:15	詩人による詩作レクチャー	講師 藤原安紀子 (詩人)
オンデマンド配信	③ 5月18日(木) ～7月31日(月)	都市河川に関する 専門家によるレクチャー	講師 武田史朗 (千葉大学教授)

ライブ配信・オンデマンド配信ともに、特設ウェブサイトの申込フォームよりお申し込みください。

すべてのレクチャーは、5月18日(木)から7月31日(月)まで、登録者限定のオンデマンド配信で視聴できます。

ライブ配信に参加できない方や聞き逃した方も、特設ウェブサイトより登録・視聴が可能です。

講師プロフィール

向井人史

Hitoshi Mukai

1958年生まれ。徳島出身。工学博士。2023年3月まで気候変動適応センター長、2018年3月まで地球環境研究センター長として気候変動に関する研究に従事。専門とする環境分野は、地球温暖化、越境大気汚染、環境化学。1982年国立公害研究所で大気部門の研究を開始。粒状物質やCO₂、同位体比などのモニタリングに従事し、国内、国外の観測を行っている。現在、国立環境研究所高度技能専門員。放送大学客員教授。

藤原安紀子

Akiko Fujiwara

1974年京都府生まれ。2002年、現代詩手帖賞受賞。詩集に『音づれる聲』(2005年・歷程新鋭賞)、『フォトン』(2007年)、『アナザミクリ an other mimicry』(2013年・現代詩花椿賞)、『どうぶつの修復』(2019年・詩歌文学館賞)。2016年より詩のワークショップ講師を務める。https://pivoting.wixsite.com/pivotal

武田史朗

Shiro Takeda

東京都生まれ。千葉大学大学院園芸学研究院教授。博士(緑地環境科学)、一級建築士。武田計画室ランドスケープ・建築代表。柏の葉アーバンデザインセンター(UDCK)副センター長。立命館大学歴史都市防災研究センター客員研究員。庭園、公園、川辺、大学キャンパスなど、ランドスケープのデザインと建築設計を専門とし、著書に『テキストランドスケープデザインの歴史』(2010)、『自然と対話する都市へ:オランダの河川改修に学ぶ』(2016)などがある。

「気候アクション SUMIDA」特設ウェブサイト
https://www.art-society.com/project/climateactionsumida.html



気候

アクション

SUMIDA

川辺から、
詩と映像によるメッセージ